



ココロとカラダ、地球も健康に
- 新しい価値観ロハスで持続可能な社会を！

2007年12月18日

LBA（ロハス・ビジネス・アライアンス）

共同代表 大和田順子

大和田順子 自己紹介



日本で初めてロハスを紹介した記事

全国での講演やテレビ、ラジオに出演



日経新聞
2002年9月21日



Eco japan cup 2007
環境ビジネスウイメン賞
受賞

ロハス関連書籍
記事を執筆



- 1 . 今なぜLOHAS（ロハス）か
- 2 . LOHASとは何か
- 3 . LOHASの視点で社会を見直すと
- 4 . 日本のLOHAS層の特徴
- 5 . LOHASビジネス
- 6 . 低炭素社会

なぜ今LOHASが必要なのか？

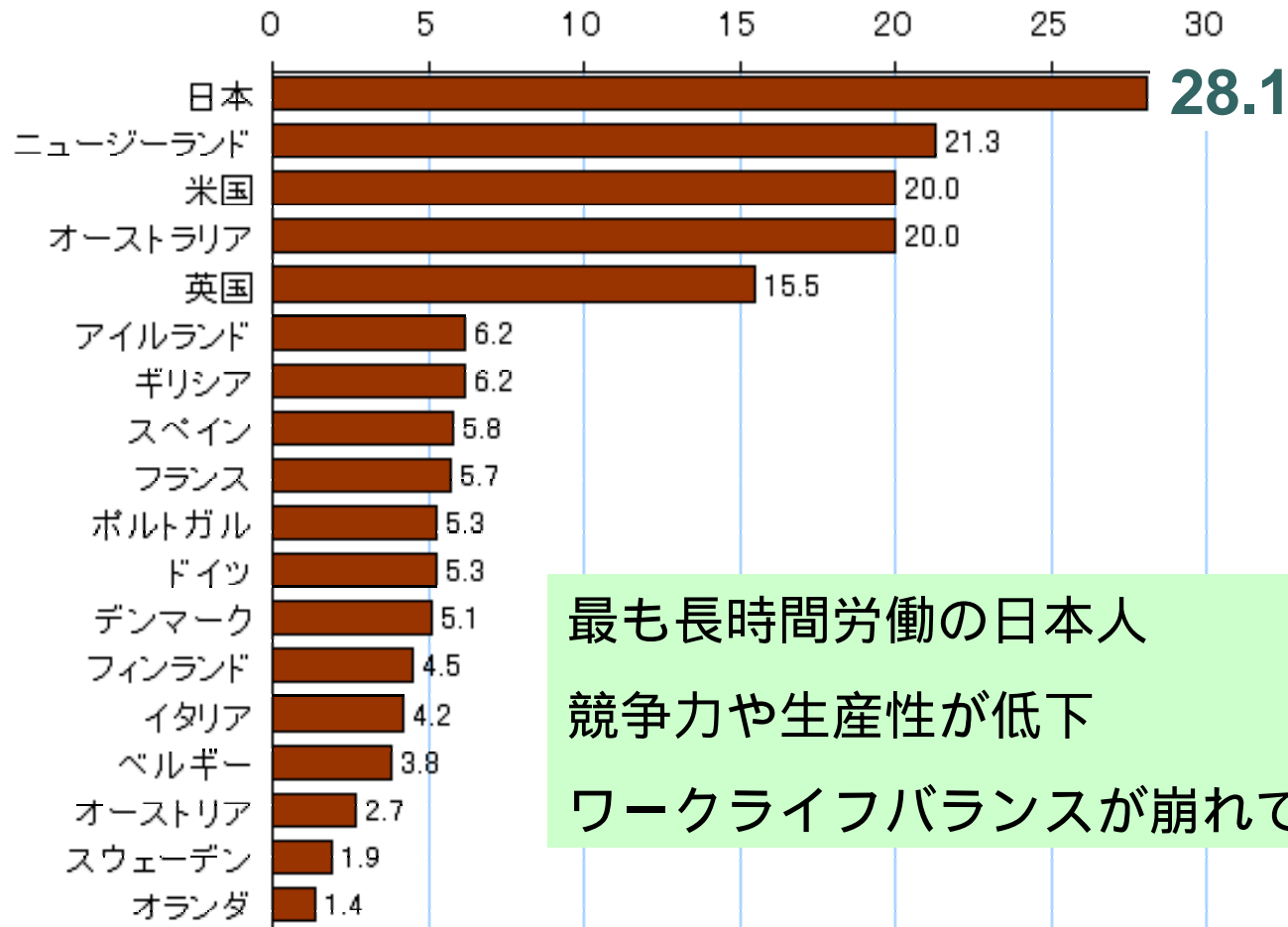
最近心を痛めている5つのこと

- 1．ワーク・ライフ・アンバランスや心の病の増加
- 2．食品偽装など、相次ぐ企業の不祥事
- 3．食糧自給率や木材自給率の低さ
- 4．地方都市の中心市街地の疲弊、農山村の過疎化
- 5．そして気候変動 あと10年が正念場

エコイズム、そして共感力、想像力、五感力の衰え
が様々な問題を生んでいる！

長時間労働者比率(2000年)

週当たり労働時間が50時間以上の労働者割合(%)



最も長時間労働の日本人
競争力や生産性が低下
ワークライフバランスが崩れている人生

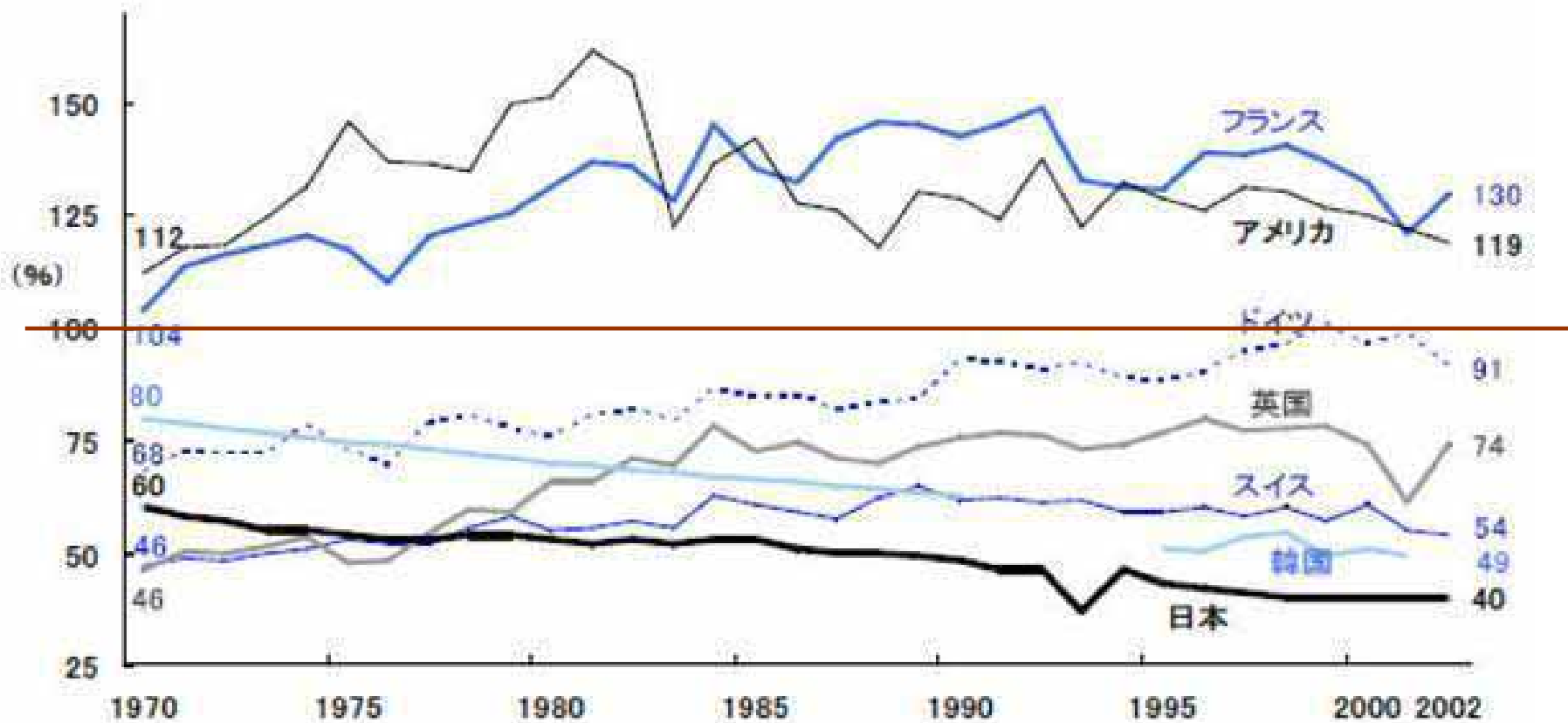
(注) 米国データは1998年。米国と日本は49時間以上働いた比率。

原資料はILO, "Working Time and Workers' Preferences in Industrialized Countries: Finding the Balance" (2004)

(資料) 内閣府「平成18年版国民生活白書」

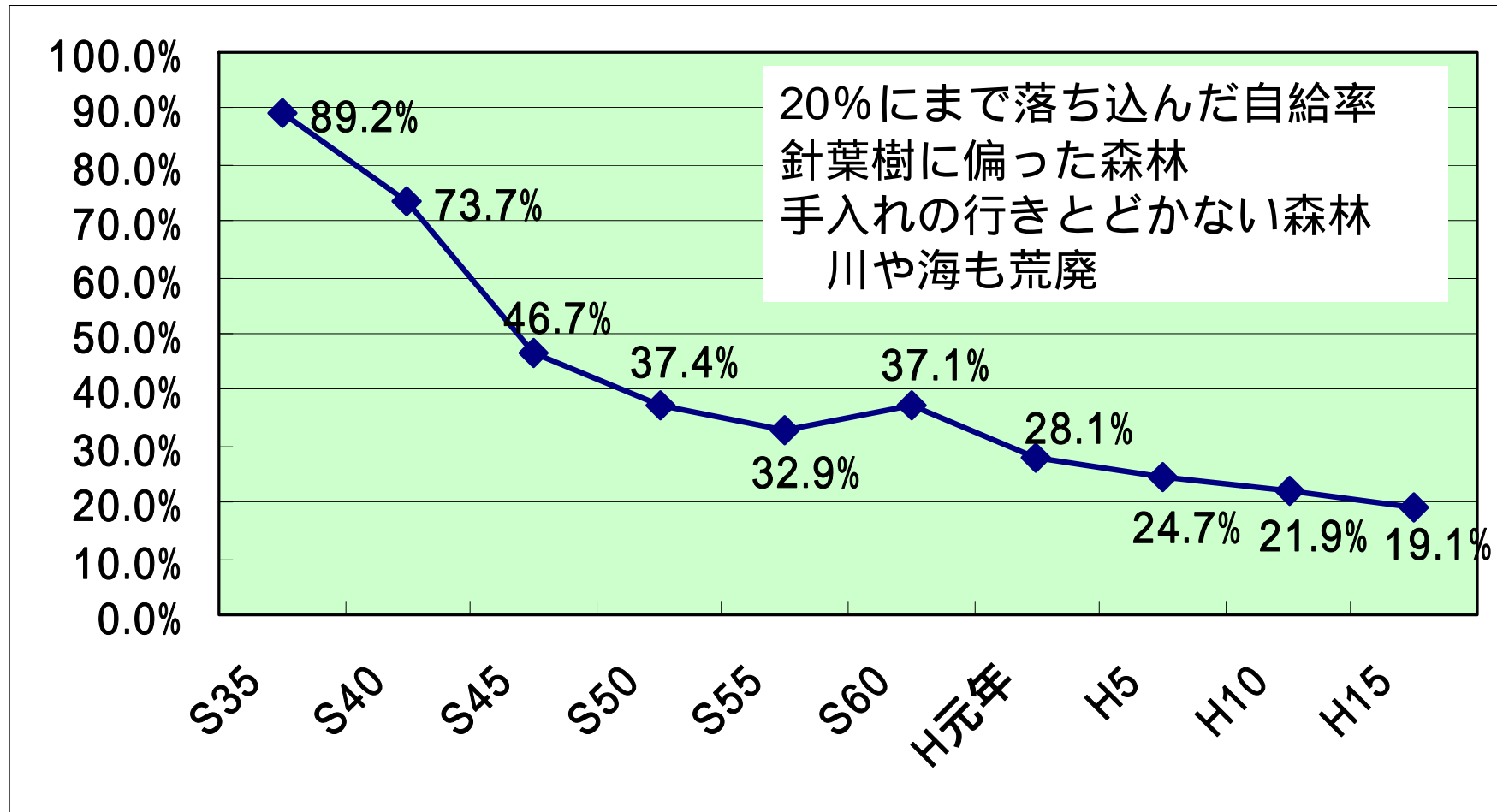
食糧自給率と海外依存

各国の食糧自給率（カロリーベース）の推移



- 日本は減少を続け主要先進国では最低水準

国産木材自給率の推移



出典：「平成15年木材需給表」林野庁企画課より作成

自然は待ってくれない。

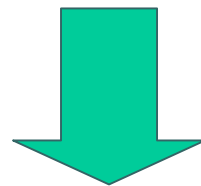
- 地球の平均気温 ここ100年で0.6 上昇
- 日本の平均気温 ここ100年で1.0 上昇
(東京は3)
- アラスカ、カナダ西部 ここ50年で3 ~ 4 上昇
- 氷河や海氷の融解
- 積雪期間が短縮
- 永久凍土の融解

温暖化のポイント・オブ・ノーリターンは、
2016年頃と予測。あと10年が勝負！



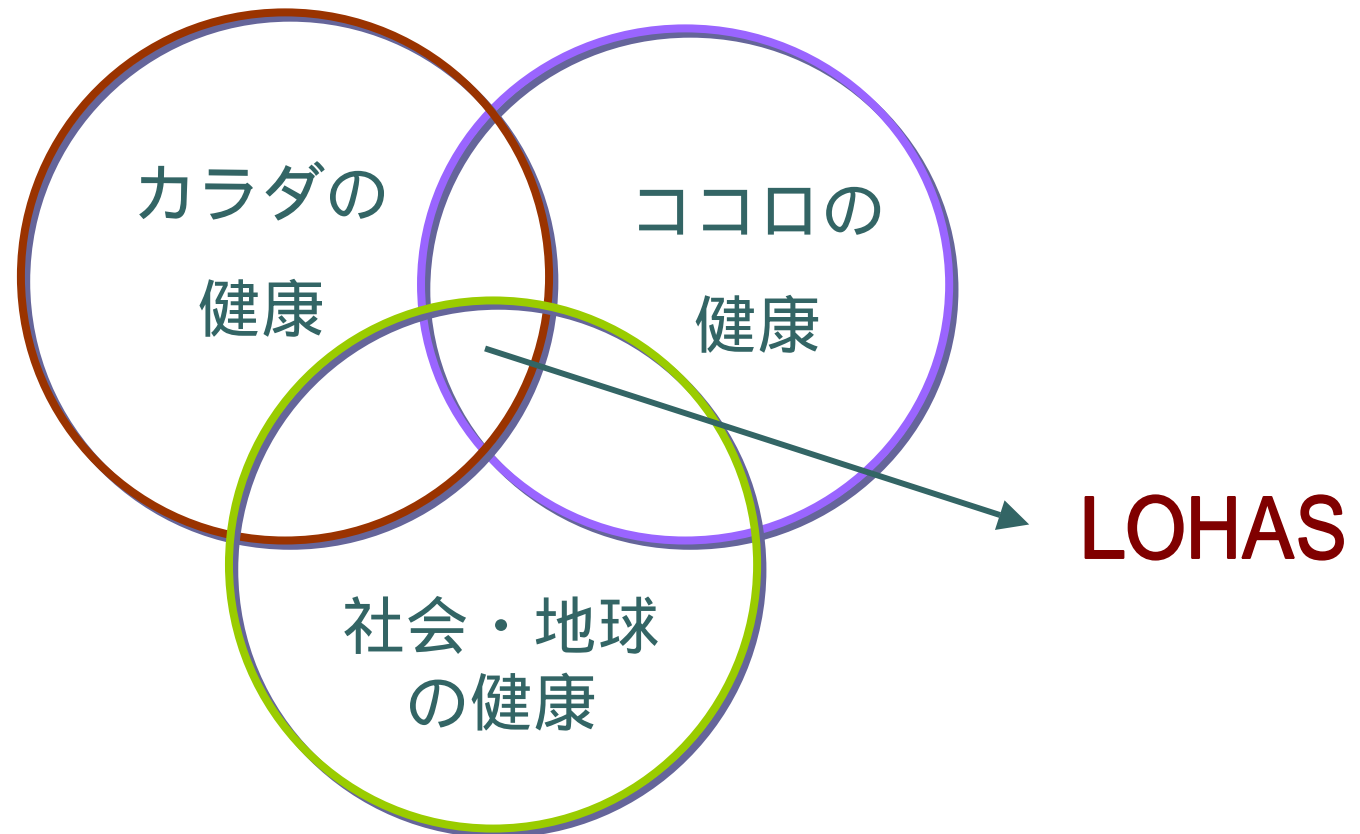
この10年、私たちはどんなビジネス・暮らしを選択しますか？

価値観や行動を変えなければ、
問題は解決しない



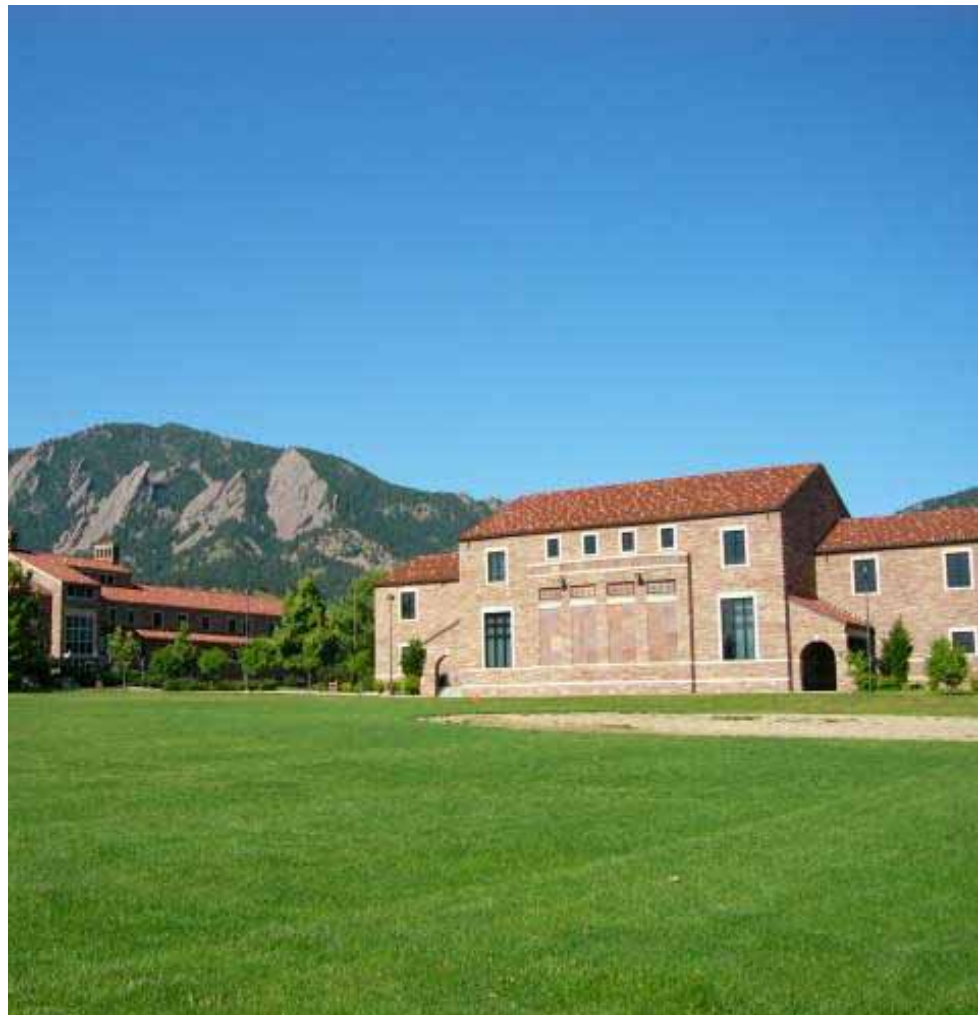
- 社会を変えるのは私たち一人ひとり
- 生活者や企業も社会を変える力を持っている

Lifestyles Of Health And Sustainability



LOHASの故郷 コロラド州ボルダー市

コロラド州北部の街、Boulderは雄大なロッキー山脈の麓に位置する、自然に囲まれた美しいまち。人口8.5万人



ボールダーの特徴

- ・ 良い環境を維持する政策、自然が美しいまち
- ・ 「健康」志向の富裕層が住みたいまち
- ・ まちづくりに高い市民意識
- ・ オーガニックビジネスのコミュニティ
- ・ スピリチュアリティのコミュニティ



歩行者中心の商店街



「カルチュラル・クリエイティブ」

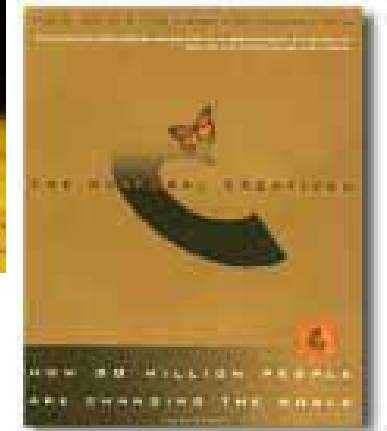
- 1998年 社会学者ポール・レイ博士が発表
- エコロジーや地球環境、人間関係、平和、社会正義、自己実現そして自己表現に深い関心を寄せる人たち。

< 3つの分類 >

信心深い伝統派

科学主義の近代派

カルチュラル・クリエイティブ



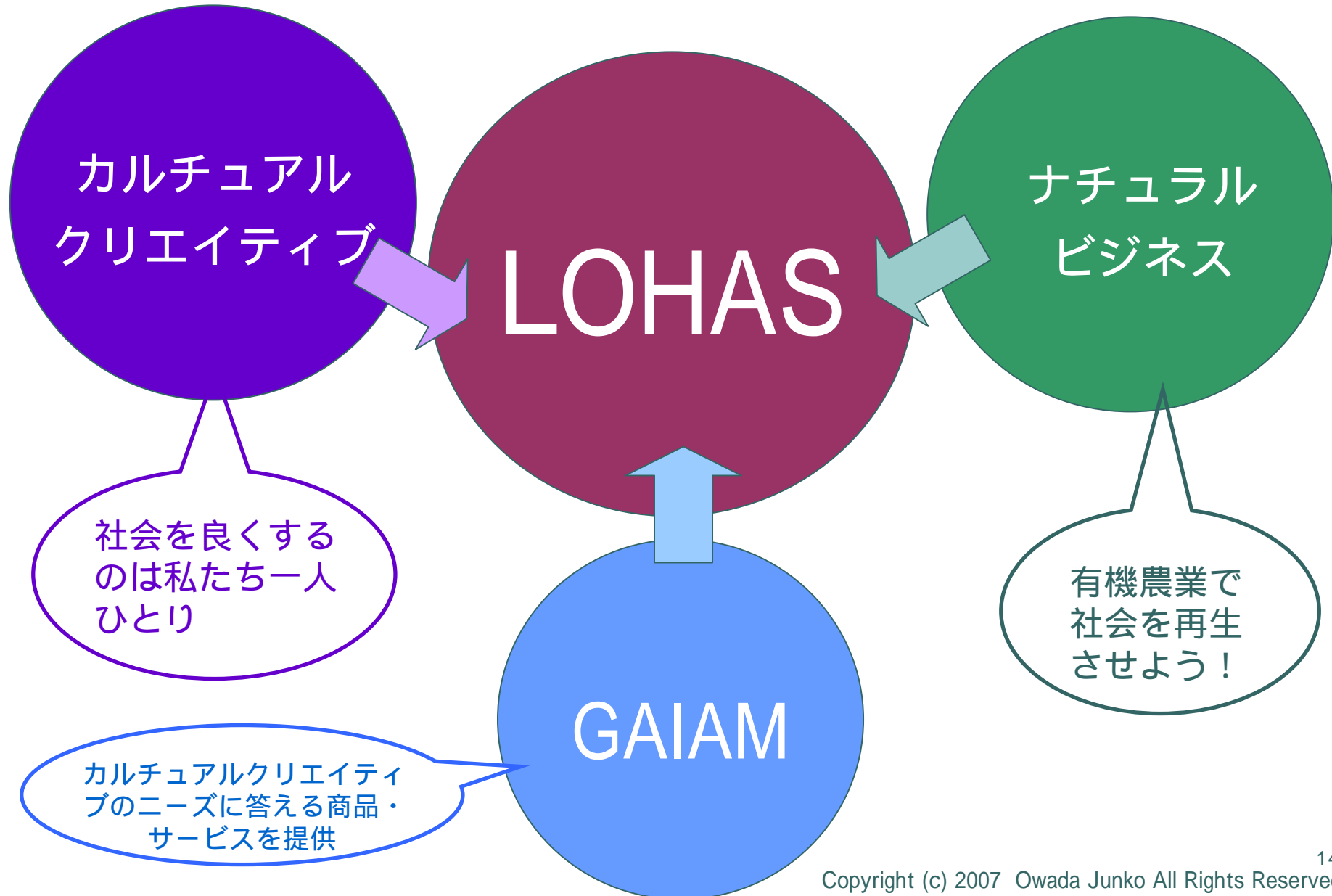
< カルチュラル・クリエイティブの有名人 >

トニー・ブレア / ダライ・ラマ / ヨーヨー・マ

ケン・ウィルバー / アーサー・C・クラーク

アニータ・ロディック / ジョージ・ルーカス

LOHAS誕生の系譜



第6回 LOHAS会議 (2002年6月)

全米から約400人の社会起業家が集まって

基調講演：レスター・ブラウン
「エコ・エコノミー 地球のための経済の創造」
講演：トム・チャペル (Tom's of Mine CEO)
「これまでの経営を振り返って」
ポール・レイ
「LOHASマーケットの展望」
リテーラーズ・サミット
「ザ・スーパーナチュラルズ」

